

- 問1 香川県では古くから数多くの「ため池」が作られ、水不足への対策が講じられてきましたが、昭和時代には吉野川から水を引く大規模な「香川用水」が整備されました。このように新たな水源を確保する必要があった理由として、地域の気候や環境の背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）
1. 瀬戸内式の気候で降水量が少なく、ため池だけでは近年の需要増大や深刻な干ばつに対応しきれなかったため。
  2. 吉野川の下流域で頻発する洪水を防ぐため、水を讃岐平野側に放流して調整する必要があったため。
  3. 高度経済成長期にすべてのため池が埋め立てられ、工業用地や住宅地へと転用されてしまったため。
  4. 香川県内の地下水から塩分が検出されるようになり、農業や生活に利用できなくなったため。
- 問2 四国地方の山地の南側斜面において、みかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 海岸沿いに広がる広大な砂丘地帯において、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、水はけの良さを活かしているため。
  2. 夏に発生しやすい冷害を避けるため、標高の高い傾斜地を利用して冷涼な気候を維持し、害虫の発生を抑えているため。
  3. 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。
  4. 冬に北西から吹く季節風がもたらす大量の積雪を、春先の農業用水として安定して利用できる地形であるため。
- 問3 中国・四国地方の3つの都市における降水量の特徴について説明した次の文章のうち、瀬戸内の気候（広島など）に該当するものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
1. 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。
  2. 12月から2月にかけての冬季の降水量が約400mmと、他の時期に比べて多くなる。
  3. 7月から9月にかけての降水量が約960mmに達し、年間を通じて降水量が非常に多い。
  4. 1年を通じて降水量が極めて少なく、冬の冷え込みが非常に厳しい中央高地の特色を持つ。
- 問4 愛知県、大阪府、広島県、高知県の4つの県の人口構成を比較したとき、60代から70代の層が厚く、15歳未満の若年層が極めて少ない「つぼ型」の人口ピラミッドを示す県として最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 愛知県
  2. 高知県
  3. 大阪府
  4. 広島県
- 問5 松江城（島根県）、松本城（長野県）、名古屋城（愛知県）、彦根城（滋賀県）、姫路城（兵庫県）の5つの城がある県の製造業を比較した際、島根県に特有の工業的特徴として正しいものはどれですか。製造品出荷額の構成に着目して答えなさい。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. 伝統的な製鉄技術の歴史的背景もあり、製造品出荷額の上位4産業に鉄鋼業が含まれている。
  2. 高度な技術力を持つ中小企業が集積し、電子部品・デバイスの出荷額が県全体の8割を超えている。
  3. 内陸県特有の立地条件から、水資源を大量に消費するパルプ・紙や化学工業が上位を独占している。
  4. 太平洋ベルトの工業地域に位置することを生かし、製造品出荷額の大部分を輸送用機械が占めている。
- 問6 中国地方に位置する5つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる唯一の県について、その県名と県庁所在地名の正しい組み合わせを選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）
1. 岡山県 ― 倉敷市
  2. 山口県 ― 下関市
  3. 島根県 ― 松江市
  4. 鳥取県 ― 米子市
- 問7 岡山県と香川県の経済的・社会的な結びつきについて説明した文として、統計的な事実に基づいた最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。
  2. 香川県は岡山県と陸続きで隣接しているため、瀬戸大橋を経由せずとも日常的な徒歩や自転車での往来が容易であり、旅客数が周辺県の中で最大となっている。
  3. 香川県の人口は約97万人であり、これは岡山県に隣接する広島県や兵庫県よりも多いため、必然的に岡山県からの旅客流入数も最大となっている。
  4. 岡山県と香川県は海を隔てているため、旅客の移動はフェリーが中心であるが、近年の高速道路料金の値下げにより広島県を上回る交流人口を維持している。
- 問8 1980年から2019年までの島根県における観光客数の推移を、分析したとき、統計上見られる特徴として正しい説明はどれですか。（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている
  2. 県外からの観光客は長年減少傾向にあるが、外国人観光客の急増によって総数が過去最高を更新し続けている
  3. 高速道路が開通した年のみ一時的に観光客が増加するが、翌年には行事の有無に関わらず元の水準に戻っている
  4. 観光客総数の増加は、主に県内居住者が県内各地を頻繁に訪れるようになったことで維持されている
- 問9 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 児島・坂出ルート
  2. 神戸・鳴門ルート
  3. 尾道・今治ルート
  4. 明石海峡ルート
- 問10 瀬戸内地方は、年間を通して降水量が少なく、晴天の日が多いことで知られています。このような気候が形成される地形的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため
  2. 冬の北西季節風を四国山地が、夏の南東季節風を中国山地がそれぞれ遮るため
  3. 南側に高い山地が存在しないため、太平洋からの湿った空気が雨を降らせずに通過するため
  4. 飛騨山脈と木曽山脈が日本海からの湿った空気を遮り、乾燥した風が流れ込むため
- 問11 四国地方に位置する徳島県の統計では、年間商品販売額が1999年の約2兆1千億円をピークに、2014年には約1兆3千億円まで減少しています。本州四国連絡橋の整備が進んだ時期に、このような統計結果が見られるようになった背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 交通網の利便性が高まった結果、地元の住民が買い回りも観光に時間を割くようになり、消費が分散したため。
  2. 交通網の整備によって物流のコストが下がり、地元で販売される商品の価格が全体的に安くなったため。
  3. 交通網の整備により県外からの人口流入が急増し、供給過多となって地元の商店が競争に敗れたため。
  4. 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。
- 問12 日本の都道府県には、県名と県庁所在地の名称が一致するものと、異なるものが存在します。次の4つの県のうち、県庁所在地の名称が県名と一致している県はどれですか。なお、それぞれの県庁所在地は、水戸市、新潟市、金沢市、岡山市のいずれかです。・関東地方に位置する茨城県・北陸地方に位置する新潟県・北陸地方に位置する石川県・中国地方に位置する岡山県（2016年 長崎県公立入試 類似）
1. 新潟県と岡山県
  2. 茨城県と新潟県
  3. 茨城県と石川県
  4. 石川県と岡山県

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>瀬戸内式の気候で降水量が少なく、ため池だけでは近年の需要増大や深刻な干ばつに対応しきれなかったため。                       | 香川県（讃岐平野）は、南側に四国山地、北側に中国山地があるため、湿った空気が遮られやすく、年間を通じて降水量が少ないのが特徴です。伝統的なため池による貯水だけでは、人口増加に伴う生活用水の需要や、長期間雨が降らない大規模な干ばつを乗り越えることが困難であったため、山を越えて他県の河川から安定的に送水する導水路が建設されました。                                                          |
| 問2  | 答え 3<br>付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。                | 四国地方の南部は、日本列島の太平洋側を流れる黒潮（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも凍結しにくい温暖な気候が保たれます。また、山地の南側斜面は日照時間が長く、果実の糖度を高めるのに必要な日光を十分に確保できるほか、傾斜地であるため水はけが良いという利点があります。これに加えて、台風の通過による多量の降水といった気象条件も、この地域の農業に大きな影響を与えています。                                      |
| 問3  | 答え 1<br>年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。                                   | 瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれ山地に遮られます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。他の選択肢にある「冬季に降水量が多い」のは日本海側、「夏から秋にかけて降水量が突出して多い」のは太平洋側の気候の特色です。                                                                           |
| 問4  | 答え 2<br>高知県                                                                      | 高知県は、大都市圏である愛知県や大阪府、地方中心都市を持つ広島県と比較して、少子高齢化が顕著に進んでいます。若年層が仕事や教育を求めて県外へ流出する一方で、65歳以上の高齢者の割合が高まるため、人口ピラミッドは底が狭く、中高年層の幅が広い「つぼ型」に近い形状となります。                                                                                       |
| 問5  | 答え 1<br>伝統的な製鉄技術の歴史的背景もあり、製造品出荷額の上位4産業に鉄鋼業が含まれている。                               | 島根県は、中国山地で古くから行われてきた「たたら製鉄」の伝統があり、その技術を継承・発展させた特殊鋼などの製造が現在も盛んです。そのため、日本海側に位置する同県の製造品出荷額において、鉄鋼業は上位4産業に入る重要な位置を占めています。他の選択肢にある「輸送用機械（愛知県など）」や「電子部品（長野県など）」とは異なる、島根県特有の産業構造です。                                                  |
| 問6  | 答え 3<br>島根県 ― 松江市                                                                | 中国地方で県名と県庁所在地名が異なるのは島根県だけです。島根県の県庁所在地は松江市です。鳥取県（鳥取市）、岡山県（岡山市）、広島県（広島市）、山口県（山口市）はすべて県名と同じ名称の市に県庁が置かれています。選択肢にある米子市や下関市、倉敷市は各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。                                                                           |
| 問7  | 答え 1<br>瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。 | 岡山県と香川県は瀬戸内海を挟んでいますが、瀬戸大橋という強力な交通インフラによって結ばれています。2019年の統計において、香川県を訪れる他都道府県からの旅客のうち、岡山県からの割合が46.8%と突出している事実は、橋の存在が両県の境界を越えた一体的な生活圏や経済圏を形成していることを示しています。                                                                        |
| 問8  | 答え 1<br>世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている                             | 島根県の観光動態を分析すると、県内居住者による観光客数は比較的安定した推移を示しています。これに対し、石見銀山の世界遺産登録や出雲大社の遷宮といった大規模な社会的トピックがある時期には、県外からの観光客が爆発的に増加しており、これが観光客総数のグラフにおける急激なピークを形成する主因となっています。これは地域の文化遺産が、広域からの集客力を高める重要な資源であることを示しています。                              |
| 問9  | 答え 3<br>尾道・今治ルート                                                                 | 広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が行き来できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。                                                               |
| 問10 | 答え 1<br>冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため                                      | 日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。冬は日本海側から吹く湿った風が中国山地にぶつかって雪を降らせた後、乾燥した風となって瀬戸内側に吹き込みます。夏は太平洋側からの湿った風が四国山地にぶつかって雨を降らせた後、乾燥した風が吹き込みます。このように、2つの山地が障壁となって季節風が運ぶ水分を遮断するため、瀬戸内地方は年間降水量が少なくなります。                    |
| 問11 | 答え 4<br>大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。                       | 交通網の整備は本来、地域経済の活性化を期待して行われますが、徳島県のように大都市圏（関西方面）に近い地域では、住民が大都市へ容易に行けるようになったことで、地元での消費が減少する事態を招きました。統計データに見られる販売額の減少は、交通の便が良くなったことで地方の購買力が大都市に吸い寄せられた結果であり、これをストロー現象と呼びます。人口減少や少子高齢化だけでなく、こうした交通網による外部への流出も、地方の消費に大きな影響を与えています。 |
| 問12 | 答え 1<br>新潟県と岡山県                                                                  | 新潟県の県庁所在地は新潟市、岡山県の県庁所在地は岡山市であり、どちらも県名と都市名が一致しています。一方で、茨城県の県庁所在地は水戸市、石川県の県庁所在地は金沢市であり、県名とは異なる名称が使われています。全国の約6割の都道府県では県名と県庁所在地名が一致していますが、北関東や北陸、近畿地方などでは異なる名称を持つ県が多く見られます。                                                      |